



(提供書面)

## 事業報告

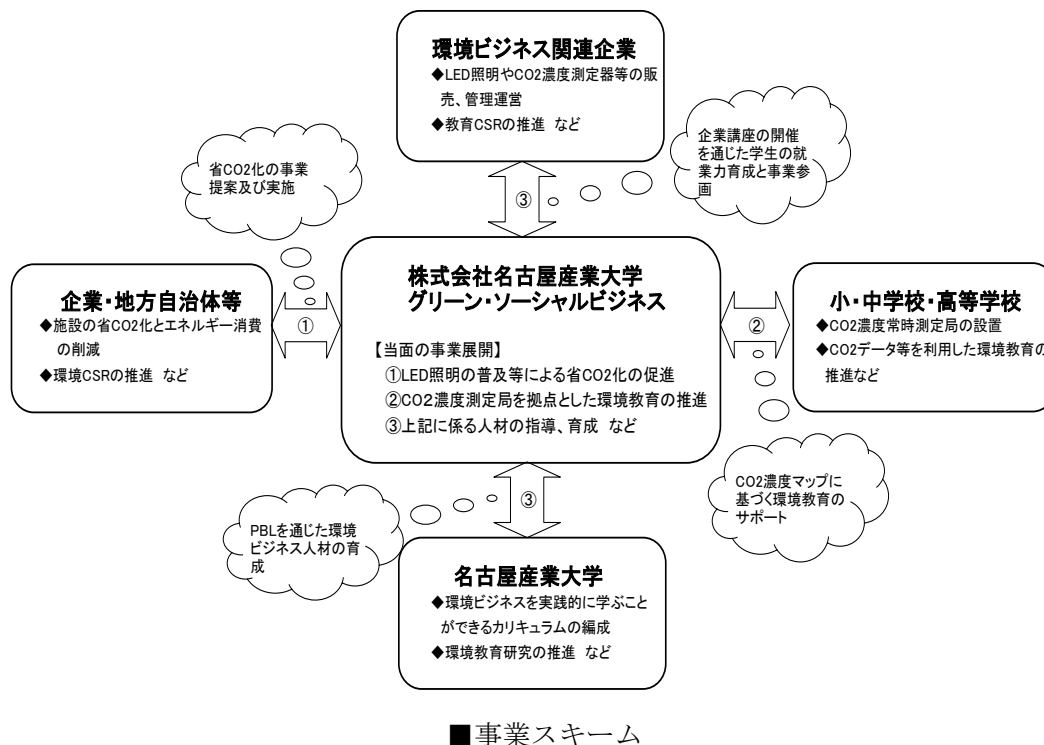
平成25年 1月 1日から  
平成25年 12月 31日まで

### 1 企業の現況

#### (1) 当事業年度の事業の現況

当社は、平成23年3月28日、大学生が環境ビジネスを実践的に学び、低炭素社会の実現に貢献する場として、名古屋産業大学尾張旭キャンパス内に設立されました。当社設立は、名古屋産業大学の「共育課程」の一環となるもので、環境ビジネス関連企業との連携のもとに、大学生が中心となって会社を運営し、CO<sub>2</sub>をテーマとしたソーシャル・ビジネス（社会的事業）を展開するとともに、環境ビジネスを担う人材の育成を行うことを目的としています。

当事業年度においては、以下の事業スキームに基づく事業活動の充実に取り組みましたが、その現況は、以下のとおりです。





## ① 環境ビジネス講座の開催

大学生が環境ビジネスを実践的に学ぶ場として、名古屋産業大学と連携し、企業経営者等を招いた環境ビジネス講座を以下のとおり開催しました。なお、この講座は、名古屋産業大学の専門ゼミナール共通プログラムとして実施しました。

・平成 25 年 5 月

◇平成 25 年度第 1 回講座

講師：伊藤雅一（名古屋産業大学学長・当社代表取締役）

高木祥太（名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科博士後期課程・当社取締役）

演題：榊名産大 GSB の第 2 期事業報告と今後の事業展開

・平成 24 年 6 月

◇平成 24 年度第 2 回講座

講師：講師 岩橋 孝氏（ミネルヴァコンサルティング（株）代表取締役社長、（株）バイテック環境部門長）

演題：LED 照明と ESCO 事業

・平成 25 年 7 月

◇平成 25 年度第 3 回講座

講師：小川みのり氏（株式会社バイテック）

演題：防犯灯の製品種類と特徴・シミュレーション表の作成

・平成 25 年 10 月

◇平成 25 年度第 4 回講座（公開プレゼンテーション）

講師：高木祥太（名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科博士前期課程・当社取締役）

演題：尾張旭市における街路灯の LED 照明化

・平成 25 年 11 月

◇平成 25 年度第 5 回講座

講師：林 敬三（名古屋産業大学教授・当社取締役）

演題：台湾における環境ビジネス

発表者：孫 曉梅（名古屋産業大学学部 4 年生）

演題：株式会社 MARUWA への提案に関する報告

・平成 25 年 12 月

◇平成 25 年度第 6 回講座

講師：神田 明昌（サントリービバレッジサービス（株））

演題：環境ビジネスとしての自販機ビジネス

また、企業講座で得た実務知識を活かし、平成 25 年 8 月に、学生 5 名が、尾張旭市の街路灯 LED 化をテーマとした実践型学習を実施、その成果については、同年 10 月、名



古屋産業大学 3 号館において学生による公開プレゼンテーションを行いました。

## ② LED 照明導入提案活動の推進

環境ビジネス講座で得た実務知識等を活かし、環境ビジネス関連企業との連携のもとに、2 法人、2 自治体を対象に、LED 照明導入の提案活動に加え、当期の新規事業として、省エネルギーに関する包括的なサービスを提供する ESCO 事業を適用した防犯灯の LED 照明導入の自治体向け提案活動を行いました。

また、学生による事業活動を支援するため、ミネルヴァ・コンサルティング(株)、(株)ラックランド、シャープエレクトロニクスマーケティング(株)、パナソニック(株)エコソリューションズ社、(株)ユードム、(株)ネスコ、(株)バイテック、(株)サントリービバレッジサービス、(株)三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング、(株)ウエストボックス、以上の 10 社がご参画いただいています。

なお、当社では、名古屋産業大学や環境ビジネス関連企業と連携し、大学のキャリア教育と企業の新入社員教育とが融合した新たな人材育成システムとして、「無就活（自動就活動）システム」の導入に取り組んでいます。平成 24 年 8 月に(株)東横インと名古屋産業大学との間で協定締結が行われたほか、当社の事業活動に参画していただいている(株)ユードム、(株)ラックランド、(株)サントリービバレッジサービス、(株)ウエストボックスと名古屋産業大学との間においても、順次、協定が締結されました。「無就活（自動就活）システム」については、「自動就活システム」としてビジネスモデル特許申請中です。

## ③ CO<sub>2</sub> 濃度測定局を拠点とした環境教育の推進

平成 25 年 10 月に菊華高等学校、(株)ネスコとの覚書を締結し、これに基づき、環境貢献の一環として、環境教育の拠点となる CO<sub>2</sub> 濃度測定局並びに CO<sub>2</sub> データモニター装置を菊華高等学校キャンパスに設置することを支援しました。

## ④ 公式ホームページの運営

平成 23 年 8 月に当社の公式ホームページを開設しましたが、当事業年度においても、学生による会社運営の一環として、学生の手作りによって製作、運営を行いました。また、平成 25 年 12 月にはより多くの学生が関わり、簡便にホームページの運営ができるようリニューアルを行いました。

## ⑤ パブリシティ活動の推進

事業活動に当たっては、メディアへのパブリシティ活動を推進し、以下の新聞、雑誌に当社の事業活動等が掲載されました。

・平成 25 年 3 月 1 日（金）

◇東横イン客室専用誌「たのやく」3 月号



- 東横 INN×名古屋産業大学 「無就活（自動就活）」システムの取り組み
- ・平成 25 年 6 月 1 日（土）
    - ◇東横イン客室専用誌「たのやく」6月号  
東横 INN×名古屋産業大学 名産大 GSB を通じた実践学習
    - ◇日経ビジネス 日経トップリーダー特別版  
大学内に株式会社を設立 現代ビジネスを通して実践力を育成
  - ・平成 25 年 7 月 8 日（月）
    - ◇中部経済新聞 4 面（特集）  
学内に株式会社 実践力育む
  - ・平成 25 年 10 月 23 日（水）
    - ◇中日新聞朝刊 18 面  
名産大院学生が尾張旭市に提案 自治会企画
    - ◇中部経済新聞 6 面  
街路灯 LED 化提案 名古屋産業大 学生が公開プレゼン
    - ◇読売新聞 31 面  
街路灯の LED 化提案 名産大 尾張旭で環境ゼミ

## (2) 対処すべき課題

当事業年度においては、大学生が環境ソーシャルビジネスを展開するための教育システムの整備、充実並びに当社の環境ソーシャルビジネスを社会的に周知するためのパブリシティ活動を引き続き推進しました。

その中で、LED 照明の事業提案件数については、第 2 期事業年度の成果を踏まえ、年間 4 件から 10 件程度への拡大を、また、連携する環境ビジネス関連企業については、7 社から 10 社程度への拡大を目指しました。連携企業は 10 社（前期比 3 社増）と目標を達成しましたが、事業提案件数については、学生が取り組む事業活動の幅を拓ける観点に立った教育システムの充実に重点を置いたこともあり、4 件（前期比増減なし）にとどまりました。

企業等への事業提案活動については、平成 24 年 4 月にスタートした新カリキュラムの 3 年次において、当社の学内インターンシップが位置づけられており、大学生の事業参画は平成 26 年度から本格化します。

この学内インターンシップについては、3 年次春学期の正課教育（6 単位）として、①ビジネス学習の復習、②企業講座、③PBL 型実践学習の 3 つのプログラムで構成し、まずは当社の事業活動に必要な知識の取得や企業、自治体のに向けた模擬実践を行います。

3 年次秋学期以降は、学内インターンシップの単位取得者を中心に希望者を募り、課外活動として、学生が当社の事業活動に参画する仕組みづくりを行います。その際、事業提案を行う企業の開拓や大学生の活動を支援する体制づくりについて、当社の事業活動にご参画いただいている環境ビジネス関連企業と連携し、強化を図っていきます。



また、当社の教育システムは、海外の大学から高い関心が寄せられており、今後は、台湾を中心とする海外事業展開に向けた取り組みを進めていきます。

事業提案活動に伴う収益については、引き続き CO<sub>2</sub> 濃度測定局の拡大と、ここを拠点とした環境教育の普及、拡大に取り組みます。

以上から、第 4 期事業年度（平成 26 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで）においては、次の事業計画に沿った取り組みを推進します。

## ① 事業計画

### i) 国内事業活動の推進

名古屋産業大学と連携した学内インターンシップを実施し、そこで得た実務知識等を活かして、当面は、①LED 照明導入の企業向け提案業務、②ESCO 事業を活用した防犯灯 LED 化の自治体向け提案業務、③CO<sub>2</sub> クレジットのコンサルティング業務に取り組みます。

事業提案件数については、第 3 期事業年度の状況を踏まえ、年間 3 件から 10 件程度への拡大を目指します。なお、連携企業とは、無就活（自動就活）システムの普及に向けて協議し、その拡大促進を図ります。

### ii) 海外事業活動の展開

名古屋産業大学と育達科技大学が協働し、台湾での環境教育の普及を目指す「日台環境教育センター」が開設予定であることを踏まえ、当社としては、環境教育で使用される測定機材に係る現地生産、現地販売の体制づくりの支援に取り組みます。

### iii) CO<sub>2</sub> 濃度測定局を拠点とした環境教育の普及

LED 照明導入の提案活動に伴う収益を活かし、一般社団法人日本 CO<sub>2</sub> 濃度マップ普及協会との連携も図りながら、CO<sub>2</sub> 濃度測定局を拠点とした環境教育の普及や CO<sub>2</sub> クレジットの市場開拓に取り組みます。

### iv) 環境ビジネス人材の育成

上記 i) から iii) の活動を通じて、名古屋産業大学の学生を対象に、学内インターンシップを通じて、学生による会社運営の本格化に向けた取組を進めます。

## ② 事業スケジュール

LED 照明導入提案活動など国内事業活動と、その収益を活用した環境教育の普及活動の継続的な推進を図るとともに、海外事業活動、環境ビジネス人材育成活動などについては、概ね以下のスケジュールのもとに推進します。

平成 26 年 1 月 平成 25 年度第 7 回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）



平成 25 年度第 8 回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

- 2 月～3 月 PBL 型実践型学習の推進（CO<sub>2</sub>クレジット）
- 3 月 株主総会の開催
- 4 月 学内インターンシップ登録学生の受け入れ（正課教育）
- 4 月～5 月 学内インターンシップ（ビジネス基礎の復習：30 時間）
- 5 月～6 月 学内インターンシップ（企業講座：18 時間）
- 6 月～7 月 学内インターンシップ（PBL 型実践学修：42 時間）
- 7 月 台湾・育達科技大学への日台環境教育センターの開設支援
- 8 月 学生を中心とした事業活動に着手（正課外教育）
- 9 月 第 1 回フォローアップ研修（事業：2～4 時間）
- 10 月 第 2 回フォローアップ研修（広報：2～4 時間）
- 11 月 第 3 回フォローアップ研修（営業：2～4 時間）
- 12 月 第 4 回フォローアップ研修（経理：2～4 時間）

### (3) 主要な事業内容（平成 25 年 12 月 31 日現在）

- ① 自然環境における二酸化炭素等の濃度の測定等、環境の改善に関する調査、研究事業
- ② 自然環境における二酸化炭素等の濃度の測定器等、環境の改善、保全に関わる機器の販売、設置事業
- ③ 自然環境における二酸化炭素等の濃度の研究等、環境の改善に関する人材の指導、育成事業
- ④ その他の事業

### (4) 本社及び主要な営業所

本社 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

### (5) 従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
0 名	-	-	-

## 2 会社の現況

### (1) 株式の状況（平成 25 年 12 月 31 日）

- ① 発行可能株式総数 400 株
- ② 発行済株式の数 100 株
- ③ 株主数 3 名

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日比谷 平四郎	40 株	40.00%
伊藤 雅一	30 株	30.00%
増田 博美	30 株	30.00%

## (2) 会社役員の状況

### ① 取締役及び監査役の状況（平成 25 年 12 月 31 日）

会社における地位	氏名	担当
代表取締役	伊藤 雅一	
取締役	増田 博美	
取締役	高木 祥太	
取締役	林 敬三	
取締役	加藤 和彦	
取締役	岡村 聖	
監査役	日比谷 平四郎	

### ② 取締役及び監査役に支払った報酬等の総額

区分	支給人員	報酬等支給額
取締役	0 名	0 円
監査役	0 名	0 円
合計	0 名	0 円